

県と清水町、エステック

工業用地造成へ協定

県、清水町、航空宇は事業を拡大し、本社

宙機器部品を製造する工場を移転・新築す

エステック(同町)は

23日、県の内陸フロン

ティア推進区域に指定

されている同町久米

田地区成長産業集積推

進区域の工業用地造

成事業に関する協定を

結んだ。町は土地の

買収や開発の許認可手

続きを行い、県は造成

工事を手掛ける。同社

成する。

エステックは昨年、

初飛行に成功した国産

初のジェット旅客機M

RJ(三菱リージョナ

ルジェット)に取り付

ける部品を供給したと

して、全国的に注目を

集めた。現在の従業員

は約40人。同区域への

進出で同社の面積は現

行の10倍近くになると

いう。



内陸フロンティア推進区域の造成事業の協定を結んだ(左から)山本博保町長、鈴木誠一社長、天野朗彦次長＝23日午前、清水町役場

清水町役場で開かれた調印式で、同社の鈴木誠一社長は「航空機に携わって30年。町や県の協力を得て、さら

なる事業拡大を目指したい」と話した。

県企業局の天野朗彦次長は「エステックは

負っている」と述べ、山本博保町長は「日本をリードする企業であり続けて」と期待を込めた。(東部総局・船田枝里)